



平成18年2月期 個別中間財務諸表の概要

平成17年10月20日

上場会社名 株式会社 ベスト電器

上場取引所 東・福

コード番号 8175

本社所在都道府県 福岡県

(URL <http://www.bestdenki.ne.jp>)

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 有菌 憲一

問合せ先責任者 役職名 執行役員総務部長

氏名 浜辺 雄治 TEL (092) 643-6827

決算取締役会開催日 平成17年10月20日

中間配当制度の有無 無

単元株制度採用の有無 有(1単元1,000株)

1. 17年8月中間期の業績(平成17年3月1日~平成17年8月31日)

(1)経営成績 (百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年8月中間期	169,427	(1.5)	782	(89.2)	1,392	(62.3)
16年8月中間期	172,077	(0.7)	413	(66.4)	858	(58.3)
17年2月期	346,312		240		867	

	中間(当期)純利益		1株当たり 中間(当期)純利益
	百万円	%	円 銭
17年8月中間期	573	(0.0)	4 73
16年8月中間期	573	(46.0)	4 73
17年2月期	9,624		79 38

(注) 期中平均株式数 17年8月中間期 121,225,963株 16年8月中間期 121,255,780株 17年2月期 121,250,266株

会計処理の方法の変更 無

売上高、営業利益、経常利益、中間(当期)純利益におけるパーセント表示は、対前年中間期増減率

(2)配当状況

	1株当たり 中間配当金	1株当たり 年間配当金
	円 銭	円 銭
17年8月中間期		
16年8月中間期		
17年2月期		15 00

(3)財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年8月中間期	178,269	72,499	40.7	598 10
16年8月中間期	183,309	83,752	45.7	690 73
17年2月期	175,294	73,624	42.0	607 29

(注) 期末発行済株式数 17年8月中間期 121,216,448株 16年8月中間期 121,251,387株 17年2月期 121,233,805株

期末自己株式数 17年8月中間期 5,251,692株 16年8月中間期 5,216,753株 17年2月期 5,234,335株

2. 18年2月期の業績予想(平成17年3月1日~平成18年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり年間配当金	
				期末	円 銭
通 期	350,000	4,000	2,000	15 00	15 00

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 16円50銭

上記の予想の前提条件その他の関連する事項については、中間決算短信(連結)添付資料の6ページを参照してください。

個別中間財務諸表等

中間貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨）

科目	期別		増減 (印は減少)	前事業年度 要約貸借対照表 平成17年 2月28日現在	増減 (印は減少)
	当中間会計期間 平成17年 8月31日現在	前中間会計期間 平成16年 8月31日現在			
(資産の部)					
流動資産	76,379	77,796	1,417	77,558	1,179
現金及び預金	7,502	7,267	235	6,654	848
受取手形	6,875	9,134	2,259	7,205	330
売掛金	14,149	14,341	191	14,781	631
たな卸資産	39,363	37,317	2,045	40,552	1,189
貸倒引当金	8,549	9,795	1,245	8,425	124
固定資産	60	59	1	60	0
有形固定資産	101,855	105,472	3,616	97,708	4,147
建物	70,009	78,015	8,005	69,116	893
土地	31,625	34,053	2,427	31,754	128
その他の有形固定資産	28,009	31,193	3,183	28,341	332
無形固定資産	10,374	12,768	2,394	9,020	1,354
投資その他の資産	541	701	160	597	56
長期貸付金	31,304	26,755	4,549	27,994	3,309
差入保証金	4,422	2,155	2,266	3,207	1,214
その他の投資その他の資産	15,373	15,722	348	15,563	189
貸倒引当金	11,536	8,926	2,609	9,384	2,151
繰延資産	27	48	21	160	133
社債発行	35	40	5	27	8
資産合計	35	40	5	27	8
	178,269	183,309	5,039	175,294	2,975
(負債の部)					
流動負債	62,699	64,496	1,796	66,798	4,099
支払手形	5,411	5,871	460	7,795	2,384
短期借入金	17,072	14,359	2,712	17,246	174
一年内返済予定長期借入金	24,700	13,800	10,900	19,900	4,800
一年内償還社債	3,940	5,907	1,967	3,940	-
未払法人税等	-	14,900	14,900	7,000	7,000
賞与引当金	227	576	348	608	380
その他の負債	450	540	90	450	-
固定負債	1,892	1,515	377	2,224	332
社債	9,005	7,026	1,979	7,633	1,372
社債	43,070	35,060	8,009	34,870	8,199
社債	6,000	6,000	-	6,000	-
長期借入金	21,500	11,500	10,000	11,500	10,000
退職給付引当金	10,320	14,260	3,940	12,290	1,970
役員退職慰労引当金	1,686	1,262	424	1,458	227
その他の負債	203	175	28	191	11
負債合計	3,360	1,862	1,497	3,429	69
資本の部	105,769	99,557	6,212	101,669	4,100
資本金	20,946	20,946	-	20,946	-
資本剰余金	37,004	37,004	0	37,004	-
資本剰余金	5,236	5,236	-	5,236	-
資本及び資本準備金減少差益	31,767	31,768	0	31,767	-
利益剰余金	31,767	31,768	0	31,767	-
任意積立金	18,326	29,769	11,443	19,570	1,244
中間未処分利益	17,180	27,680	10,500	27,680	10,500
当期中未処分利益	1,146	2,089	943	-	1,146
その他有価証券評価差額金	-	-	-	8,109	8,109
自資本	165	40	206	37	127
負債	3,942	3,927	14	3,935	7
	72,499	83,752	11,252	73,624	1,124
	178,269	183,309	5,039	175,294	2,975

中間損益計算書

単位：百万円（百万円未満切捨）

科目	期別 当中間会計期間 自平成17年3月1日 至平成17年8月31日	前中間会計期間 自平成16年3月1日 至平成16年8月31日	増 減 (印は減少)		前事業年度 要約損益計算書 自平成16年3月1日 至平成17年2月28日
			金額	比率	
					%
売上高	169,427	172,077	2,650	1.5	346,312
売上原価	137,907	141,361	3,453	2.4	282,652
売上総利益	31,519	30,716	803	2.6	63,659
販売費及び一般管理費	30,737	30,303	434	1.4	63,900
営業利益	782	413	368	89.2	-
営業損失	-	-	-	-	240
営業外収益	1,426	1,339	87	6.5	2,946
受取利息及び割引料	327	313	13		606
受取家賃	381	431	50		915
その他の営業外収益	718	594	123		1,424
営業外費用	815	894	78	8.8	1,838
支払利息	339	334	5		656
社債利息	172	291	119		511
閉鎖店舗賃借料	135	-	135		-
その他の営業外費用	168	268	99		669
経常利益	1,392	858	534	62.3	867
特別利益	89	776	687	88.5	1,301
特別損失	821	467	354	75.9	13,793
税引前中間純利益	660	1,167	507	43.4	-
税引前当期純損失	-	-	-	-	11,624
法人税、住民税及び事業税	90	586	496		730
法人税等調整額	4	7	11		2,730
中間純利益	573	573	0	0.0	-
当期純損失	-	-	-	-	9,624
前期繰越利益	572	1,515	943		1,515
中間未処分利益	1,146	2,089	943		-
当期未処理損失	-	-	-		8,109

中間財務諸表作成の基本となる重要な事項

当中間会計期間	前中間会計期間	前事業年度
<p><u>1.資産の評価基準及び評価方法</u> (1)有価証券 子会社株式及び関連会社株式 移動平均法による原価法 その他有価証券 時価のあるもの 中間決算末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定） 時価のないもの 移動平均法による原価法 (2)たな卸資産 商 品 移動平均法による原価法 ただし、AVソフト、書籍等一部の商品については売価還元法による原価法によっております。 販売用不動産 個別法による原価法</p>	<p><u>1.資産の評価基準及び評価方法</u> (1)有価証券 子会社株式及び関連会社株式 同 左 その他有価証券 同 左 (2)たな卸資産 商 品 同 左 販売用不動産 同 左</p>	<p><u>1.資産の評価基準及び評価方法</u> (1)有価証券 子会社株式及び関連会社株式 同 左 その他有価証券 時価のあるもの 決算末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部資本直入法により処理し、売却原価は、移動平均法により算定） 時価のないもの 移動平均法による原価法 (2)たな卸資産 商 品 同 左 販売用不動産 同 左</p>
<p><u>2.固定資産の減価償却の方法</u> (1)有形固定資産 建物および店舗造作 定額法 建物および店舗造作以外 定率法 なお、耐用年数および残存価額については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。 (2)無形固定資産 定額法 ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年間)に基づく定額法を採用しております。 (3)投資その他の資産 長期前払費用 定額法</p>	<p><u>2.固定資産の減価償却の方法</u> (1)有形固定資産 同 左 (2)無形固定資産 同 左 同 左 (3)投資その他の資産 同 左</p>	<p><u>2.固定資産の減価償却の方法</u> (1)有形固定資産 同 左 (2)無形固定資産 同 左 同 左 (3)投資その他の資産 同 左</p>
<p><u>3.繰延資産の処理方法</u> 社債発行費については、社債の償還期限または商法施行規則の規定する最長期間(3年間)のいずれか短い期間で毎期均等額を償却しております。</p>	<p><u>3.繰延資産の処理方法</u> 社債発行費については商法施行規則の規定する最長期間(3年間)により毎期均等額を償却しております。</p>	<p><u>3.繰延資産の処理方法</u> 同 左</p>
<p><u>4.引当金の計上基準</u> (1)貸倒引当金 債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見積額を加えて計上しております。 (2)賞与引当金 従業員および使用人兼務役員に対して支給する賞与に充てるため、平成17年12月支給見込額のうち当中間会計期間負担相当額を計上しております。 (3)ポイント引当金 顧客に付与されたポイントの使用による費用発生に備えるため、当中間会計期間末において将来使用されると見込まれる額を計上しております。</p>	<p><u>4.引当金の計上基準</u> (1)貸倒引当金 同 左 (2)賞与引当金 従業員および使用人兼務役員に対して支給する賞与に充てるため、平成16年12月支給見込額のうち当中間会計期間負担相当額を計上しております。 (3)ポイント引当金 顧客に付与されたポイントの使用による費用発生に備えるため、当中間会計期間末において将来使用されると見込まれる額を計上しております。 (会計処理の変更) 従来、「ベストポイントカード」のポイントの使用およびポイント値引引当金の繰入差額は、売上値引として処理してはりましたが、当中間会計期間から販売費及び一般管理費として計上する方法に変更いたしました。</p>	<p><u>4.引当金の計上基準</u> (1)貸倒引当金 同 左 (2)賞与引当金 従業員および使用人兼務役員に対して支給する賞与に充てるため、平成17年7月支給見込額のうち当期負担相当額を計上しております。 (3)ポイント引当金 顧客に付与されたポイントの使用による費用発生に備えるため、当期末において将来使用されると見込まれる額を計上しております。 (会計処理の変更) 従来、「ベストポイントカード」のポイントの使用およびポイント値引引当金の繰入差額は、売上値引として処理してはりましたが、当期から販売費及び一般管理費として計上する方法に変更いたしました。</p>

当中間会計期間	前中間会計期間	前事業年度
	<p>この変更は、ポイント使用方法の多様化を企画していること、また、個々の商品の売上高、売上総利益の管理を、ポイント付与による引当金処理の売上値引を除くことで、より明確にするために行うものであります。</p> <p>この変更により、従来と同一の方法によった場合に比し、売上高、売上総利益および販売費及び一般管理費は1,910百万円多く計上されております。</p> <p>なお、従来、貸借対照表の流動負債に「ポイント値引引当金」として表示していましたが、この変更に伴い「ポイント引当金」として表示することに改めました。</p>	<p>この変更は、ポイント使用方法の多様化を企画していること、また、個々の商品の売上高、売上総利益の管理を、ポイント付与による引当金処理の売上値引を除くことで、より明確にするために行うものであります。</p> <p>この変更により、従来と同一の方法によった場合に比し、売上高、売上総利益および販売費及び一般管理費は7,717百万円多く計上されております。</p> <p>なお、従来、貸借対照表の流動負債に「ポイント値引引当金」として表示していましたが、この変更に伴い「ポイント引当金」として表示することに改めました。</p>
(4)退職給付引当金 従業員からの退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、当中間会計期間末において発生していると認められる額を計上しております。 会計基準変更時差異はありません。また、過去勤務債務は、その発生時に一括償却し、数理計算上の差異は、各期の発生時における従業員の平均残存勤務期間内の一定年数(12年)による定額法により翌期から償却することとしております。	(4)退職給付引当金 同 左	(4)退職給付引当金 従業員からの退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき、当期末に発生していると認められる額を計上しております。 会計基準変更時差異はありません。また、過去勤務債務は、その発生時に一括償却し、数理計算上の差異は、各期の発生時における従業員の平均残存勤務期間内の一定年数(12年)による定額法により翌期から償却することとしております。
(5)役員退職慰労引当金 役員からの退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく中間期末要支給額を計上しております。	(5)役員退職慰労引当金 同 左	(5)役員退職慰労引当金 役員からの退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。
<u>5.リース取引の処理方法</u> リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。	<u>5.リース取引の処理方法</u> 同 左	<u>5.リース取引の処理方法</u> 同 左
<u>6.ヘッジ会計の方法</u>	<u>6.ヘッジ会計の方法</u>	<u>6.ヘッジ会計の方法</u>
(1)ヘッジ会計の方法 金利スワップについては、特例処理を採用しております。	(1)ヘッジ会計の方法 同 左	(1)ヘッジ会計の方法 同 左
(2)ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段：金利スワップ取引 ヘッジ対象：借入金	(2)ヘッジ手段とヘッジ対象 同 左	(2)ヘッジ手段とヘッジ対象 同 左
(3)ヘッジ方針 金利の変動による大きな損失を回避する目的で金利スワップ取引を利用しております。	(3)ヘッジ方針 同 左	(3)ヘッジ方針 同 左
(4)ヘッジの有効性評価の方法 金利スワップの特例処理の要件の判定をもって有効性の判定に代えております。	(4)ヘッジの有効性評価の方法 同 左	(4)ヘッジの有効性評価の方法 同 左
<u>7.その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項</u> 消費税等の会計処理 税抜方式	<u>7.その他中間財務諸表作成のための基本となる重要な事項</u> 消費税等の会計処理 同左	<u>7.その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</u> 消費税等の会計処理 同左

(会計処理の変更)

当中間会計期間	前中間会計期間	前事業年度
		固定資産の減損に係る会計基準(「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会 平成14年8月9日))および「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成15年10月31日 企業会計基準適用指針第6号)が平成16年3月31日に終了する事業年度に係る財務諸表から適用できることになったことに伴い、当事業年度から同会計基準および同適用指針を適用しております。これにより税引前当期純損失が11,166百万円増加しております。

(表示方法の変更)

当中間会計期間	前中間会計期間	前事業年度
「閉鎖店舗賃借料」は、前中間会計期間まで営業外費用の「その他」に含めておりましたが、閉鎖店舗の増加に伴い金額の重要性が増したため、当中間会計期間から区分掲記することとしております。なお、前中間会計期間における営業外費用の「その他」に含まれる「閉鎖店舗賃借料」は38百万円であります。		

注記事項

(中間貸借対照表関係)

当中間会計期間	前中間会計期間	前事業年度
有形固定資産の減価償却累計額 31,148百万円	有形固定資産の減価償却累計額 30,529百万円	有形固定資産の減価償却累計額 31,032百万円
担保に供している資産 建物 1,703百万円 土地 5,023 計 6,726 上記に対応する債務 長期借入金 3,000百万円 (一年以内返済予定額を含む)	担保に供している資産 建物 1,726百万円 土地 5,023 計 6,749 上記に対応する債務 長期借入金 3,000百万円 (一年以内返済予定額を含む)	担保に供している資産 建物 1,687百万円 土地 5,023 計 6,710 上記に対応する債務 長期借入金 3,000百万円 (一年以内返済予定額を含む)
運転資金の効率的調達を行うため、取引銀行8行(株)UFJ銀行、(株)西日本シティ銀行、(株)佐賀銀行、中央三井信託銀行(株)、(株)南日本銀行、(株)三井住友銀行、(株)伊予銀行、(株)鹿児島銀行)と特定融資枠契約(シンジケーション方式によるコミットメントライン)を締結しております。 当中間会計期間末における当契約に係る借入金未実行残高は次のとおりであります。 特定融資枠契約の総枠 18,800百万円 借入金実行残高 12,500 差引額 6,300	運転資金の効率的調達を行うため、取引銀行8行(株)UFJ銀行、(株)福岡シティ銀行、中央三井信託銀行(株)、(株)南日本銀行、(株)三井住友銀行、(株)伊予銀行、(株)佐賀銀行、(株)鹿児島銀行)と特定融資枠契約(シンジケーション方式によるコミットメントライン)を締結しております。 当中間会計期間末における当契約に係る借入金未実行残高は次のとおりであります。 特定融資枠契約の総枠 17,700百万円 借入金実行残高 11,000 差引額 6,700	運転資金の効率的調達を行うため、取引銀行8行(株)UFJ銀行、(株)西日本シティ銀行、(株)佐賀銀行、中央三井信託銀行(株)、(株)南日本銀行、(株)三井住友銀行、(株)伊予銀行、(株)鹿児島銀行)と特定融資枠契約(シンジケーション方式によるコミットメントライン)を締結しております。 当期末における当契約に係る借入金未実行残高は次のとおりであります。 特定融資枠契約の総枠 18,800百万円 借入金実行残高 16,000 差引額 2,800
運転資金の効率的調達を行うため、取引銀行6行(株)UFJ銀行、(株)西日本シティ銀行、(株)あおぞら銀行、(株)佐賀銀行、(株)中央三井信託銀行、(株)南日本銀行)と特定融資枠契約(タームアウト型コミットメントライン)を締結しております。 当中間会計期間末における当契約に係る借入金未実行残高は次のとおりであります。 特定融資枠契約の総枠 9,000百万円 借入金実行残高 9,000 差引額 -		
保証債務 (1)金融機関からの借入に対する債務保証 (株)ベストデンキ 7,935百万円 (2)金融機関からの借入に対する保証予約 BEST DENKI(SINGAPORE)PTE.LTD.(子会社) 当中間会計期間末日における借入金残高はありません。	保証債務 (1)金融機関からの借入に対する債務保証 (株)ベストデンキ 6,542百万円 (2)金融機関からの借入に対する保証予約 BEST DENKI(SINGAPORE)PTE.LTD.(子会社) 当中間会計期間末日における借入金残高はありません。	保証債務 (1)金融機関からの借入に対する債務保証 (株)ベストデンキ 6,919百万円 (2)金融機関からの借入に対する保証予約 BEST DENKI(SINGAPORE)PTE.LTD.(子会社) 当事業年度末日における借入金残高はありません。

(中間損益計算書関係)

当中間会計期間		前中間会計期間		前事業年度		
売上高の内訳		売上高の内訳		売上高の内訳		
小売売上高	127,596百万円	小売売上高	123,093百万円	小売売上高	245,709百万円	
フランチャイズ売上高	38,250	フランチャイズ売上高	45,583	フランチャイズ売上高	93,469	
テナント売上高	3,509	テナント売上高	3,377	テナント売上高	6,383	
分譲住宅売上高	70	分譲住宅売上高	24	分譲住宅売上高	748	
売上高合計	169,427	売上高合計	172,077	売上高合計	346,312	
販売費及び一般管理費のうち減価償却実施額		販売費及び一般管理費のうち減価償却実施額		販売費及び一般管理費のうち減価償却実施額		
有形固定資産	1,419百万円	有形固定資産	1,651百万円	有形固定資産	3,376百万円	
無形固定資産	63	無形固定資産	86	無形固定資産	170	
特別利益のうち主なもの		特別利益のうち主なもの				
固定資産売却益	82百万円	投資有価証券売却益	576百万円			
特別損失のうち主なもの		特別損失のうち主なもの		特別損失のうち主なもの		
固定資産除却損	184百万円	固定資産除却損	359百万円	固定資産除却損	1,296百万円	
減損損失	313			減損損失	11,166	
商品評価損	187					
当中間会計期間において、以下の資産について減損損失を計上しております。				当事業年度において、以下の資産について減損損失を計上しております。		
1. 概要				1. 概要		
用途	種類	場所		用途	種類	場所
営業店舗	店舗造作、その他	新宿高島屋店(東京都渋谷区)他、計4物件(当連結会計年度閉鎖予定店舗等3物件含む)		営業店舗	建物、店舗造作、土地、その他	片江店(福岡市城南区)他、計56物件(翌事業年度(第53期)閉鎖予定店舗等33物件含む)
営業店舗に収益悪化が認められ、また、当事業年度の閉鎖予定店舗等も勘案し、財務体質健全化のため、減損の兆候が認められた営業店舗の店舗造作、構築物等の帳簿価額および未経過リース料等を回収可能価額まで減額しております。				配達設置営業所		八代センター(熊本県八代市)他、計4物件
2. 減損損失の金額 (単位: 百万円)				賃貸用資産		閉鎖店(福岡市南区)他、計10物件
固定資産の種類	減損損失の金額			遊休資産		閉鎖店(福岡県古賀市)他、計10物件
店舗造作	105					
構築物	3					
未経過リース料	185					
長期前払費用	1					
その他	17					
計	313					
3. 資産グループのグループ化の方法				近年、家電販売業界の低価格競争の激化により、当社の一部の営業店舗、配達設置営業所に収益悪化が認められ、翌事業年度の閉鎖予定店舗等も勘案し、財務体質健全化のため、減損の兆候が認められた営業店舗、配達設置営業所、賃貸用資産並びに遊休資産の建物、店舗造作、構築物等の帳簿価額および未経過リース料を回収可能価額まで減額しております。また、土地につきましても不動産価額の下落が著しく、減損の兆候が認められたため、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。		
当社は、営業店舗、配達設置営業所の各物件単位を、また、賃貸用資産、遊休資産においても主に閉鎖した店舗の各物件単位を最小単位として、個々の資産毎にグルーピングしております。				この他、今後収益の獲得が見込めないと認められた長期前払費用の未償却残高を全額減額しております。		
4. 回収可能額の算定方法等				2. 減損損失の金額 (単位: 百万円)		
回収可能額の算定に当たっては、土地については、資産の重要性を勘案し主として路線価を基に算定した正味売却価額により評価しております。また、土地を除く資産につきましても、使用価値により測定しており、将来キャッシュフローを5.7%の割引率で割り引いて算定しております。				固定資産の種類		減損損失の金額
				建物		2,035
				店舗造作		2,280
				構築物		203
				土地		3,029
				未経過リース料		1,274
				長期前払費用		1,938
				その他		404
				計		11,166
				3. 資産グループのグループ化の方法		
				当社は、営業店舗、配達設置営業所の各物件単位を、また、賃貸用資産、遊休資産においても主に閉鎖した店舗の各物件単位を最小単位として、個々の資産毎にグルーピングしております。		

当中間会計期間	前中間会計期間	前事業年度
_____	_____	4. 回収可能額の算定方法等 回収可能額の算定に当たっては、土地については、資産の重要性を勘案し主として路線価を基に算定した正味売却価額により評価しております。また、土地を除く資産につきましては、使用価値により測定しており、将来キャッシュフローを5.7%の割引率で割り引いて算定しております。

リース取引

半期報告書についてE D I N E Tにより開示を行うため記載を省略しております。

有価証券

当中間会計期間末（平成17年8月31日）
子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

前中間会計期間末（平成16年8月31日）
子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。

前事業年度末（平成17年2月28日）
子会社株式及び関連会社株式で時価のあるものはありません。